



# K U Z U U

例会日 毎週火曜日  
例会場 足利銀行葛生支店  
栃木県安蘇郡葛生町  
中央東 1-12-11  
☎0283(86)2181

## ROTARY CLUB NEWS

2003～2004RI 会長テーマ 「手を貸そう」 ジョナサン・B・マジャバ

葛生 RC 会長テーマ 「勇気を持って行動しよう」 福島 秀治

副会長 関口 泰一郎 幹事 酒庭 和一 副幹事 中田 秀昭

2003～2004 (27) 第 2097 回 16.1.27 例会場 於：足利銀行 葛生支店 PM12:30～

葛生 RC ホームページ <http://www1.ocn.ne.jp/~kuzuu-rc/> メール [kuzuu-rc@luck.ocn.ne.jp](mailto:kuzuu-rc@luck.ocn.ne.jp)

### お客様紹介

勅使川原星一様(田沼RC)

### 会長挨拶

先週の家族新年会には多くの皆様のご出席を頂きまして有難う御座いました。駒形さんをはじめ「SAA」の皆さん、そして、谷 委員長と親睦委員の皆さんには何かとお骨折りをいただきまして誠にありがとうございました。

先日、谷 委員長と少しお話をしたのですが、「金 萬福」さんの料理の内容はともかく、できれば会場内で、皆さんの観ている前で、一品でも料理してほしかったなと思いました。その点がすこし残念でしたけれども、皆さんはどのように思われましたでしょうか？

さて、話は変わりますけれども、食品のことで嫌なことが続いておりますね。「BSE」いわゆる狂牛病、それから、「鳥インフルエンザ」そして、「鯉ヘルペス」など、おかしいですよね。何か警告をしているんでしょうけれども、早く原因を究明していただきたいと思えます。そして一日でも早く安全で安心して「食」ができるようにして頂きたいものです。

### 会員表彰

誕生祝 吉澤慎太郎君

### 会長報告

「協働フォーラム in 佐野」 ～明るい豊かなまちづくりをめざして～ の案内  
(詳細は中田英明君に)

### 幹事報告

#### 1. 理事・役員合同会議

- ・ 2月プログラム承認の件 承認
- ・ 斎藤 武会員、嶋田 政会員2名、葛生RC定款第7条 第3節(B)(1)出席規定の適用を受け、平成16年1月第2例会以降出席義務免除の件について 承認
- ・ 国際ロータリー一意義ある業績賞について提出する 承認
- ・ イラン地震災害義援金ご協力について  
一人500円(日本ユニセフ協会を通じて)個人のご協力をお願いします。  
後程、中田副幹事長が徴収にあがりますのでよろしく。

2. 会報(足利東RC・田沼RC)回覧致します。  
 例会場変更(岩舟RC・田沼RC) 黒板に掲示。
3. 国際ロータリーから      ロータリー・レート 1ドル106円になりました。

### 各委員会報告

#### <親睦委員会> 谷委員長

- ・ 家族新年会が無事行なわれました。ご協力有難うございました。
- ・ 田沼RCとの合同ゴルフコンペ 4月20日 於:ヒルクレストCC
- ・ 「ロータリー家族委員会」についての説明(詳細はお手許の資料に)

#### <国際奉仕委員会> 岩崎委員長

国際大会参加者の宿泊ホテルが決定致しました。

#### <広報委員会> 廣瀬委員長

葛生町町民の皆様に配布します広報紙の概略が出来ました。尚、紙面上少しの余裕がありまして、掲載したいことがありましたら、私共にお申し出下さい。

### 出席状況報告 野部委員長

#### \*本日の出席

会員数 47名 出席義務者数 38名 出席者 29名 事前メイクアップ 0名

出席率 **76.3%**

欠席者 飯田会員、寺内会員、横塚会員、須藤会員、坪内会員、中田(英)会員、  
 奥澤会員、松本会員、八下田(典)会員 (9名)

\*前回(1月13日)の出席      メイクアップ 0名      修正出席率 70.7%

#### 欠席連絡のお願い

やむを得ず欠席となる場合は、足銀葛生支店(86-2181)まで必ずご連絡ください。

### ニコニコBOX報告 小林委員長

谷 和文君	妻の誕生日に素晴らしい花束をいただきありがとうございます。また、家族新年会が無事行なわれました。ご協力有難うございました。
関口文雄君	家族新年会が皆様のお陰で無事終わりました。有難うございました。
椿 俊一君	家族新年会が終了致しました。協力有難うございました。
馬場俊一君	今年もよろしく!!
吉澤慎太郎君	誕生日をいただいて!
川田直治君	妻の結婚祝に立派な花をありがとう。
野部栄一君	先日誕生日を頂きました。

私は昨日72歳になりました。

古希を越えて既に2年、若い人には「化石」などと言われる年代であります。

生まれしは満州事変 死ぬる日は 未だ定まらず 老醜の残

そんな気持ちもあります。

たまたま、栃木県立佐野中学校を卒業できる最後の生徒でありまして、佐中ラスト会なる同級会の会長を命ぜられて年一回の例会やら総会などで挨拶することがありますが、そんな時には「頭が固くなっているから、老害だけは流さないようにしましょう。そして、出来ることなら老いの知恵を以って役立ちましょう」などと申し上げることにしています。所が、この老いの知恵なるものが本当に役立つものかどうか自信の持てない時代になっているような気がしてなりません。

時代の変化が余りにも急で、起こる筈のないことが次々と起こります。何時の時代でもそうなのでしょうが不測の事態にいかに対応できるかが知恵の知恵たるところでしょうのに、経験則的な知恵の積み重ねが役に立たぬ気がしてなりません。

今日は職業奉仕委員会の田沢委員長に何ヶ月も前から命ぜられて、何を話しても宜しいということで「近頃思い・考えること」としてお話しする訳ですが、先ず、時間の流れの速さ・遅さを思ったりすることがあります。物理的にいえば馬鹿な話ですが、若い時の一日の、一年の長さとは感覚的には明らかに違うと思うのです。或る程度のお年の方は実感として納得されているのではないのでしょうか。

私は、望んで今の職業について訳ではありません。長子相続の名残の時代で、なんとなく「饅頭や」を続けただけであります。父親は職人そのもので、大袈裟に言えば宵越しの金は持たない、お天道様と米の飯は何処にでもあるという気質の人間でしたから、子供心には悲しい思い出もありました。

しかし、貧しい中でも中学校にやってくれて、それが四年制ということだったのが戦争に負けて五年制となり、学制改革で新制高校となって都合六年間佐野へ通ったわけでありませぬ。

卒業した昭和25年は朝鮮戦争が始まり戦後の日本が再生・復活する時期を画した年でありましたが、その当時は戦後の混乱を引きずって相当な不況であり就職難でもありました。私の場合は今申しましたように、長子相続といっても相続する何物があったわけではありませぬが「饅頭や」を継ぐことが極めて自然な成り行きでありました。

以来50年余り、遮二無二頑張った程の記憶はありません。友達の一人からは「お前はみしみね一、親の歩んだところから一步も前に進んでいない」と叱られたことがある位ですから頑張りには内場だったのでしょう。

せいぜい時の流れに棹さすというより、若干遅れてついてきたのかなあと思うくらいであります。

唯、矩を越えないような心掛け、例えば町会議員になろうとかの様な畑違いへ踏み込むようなことがなかったことは確かです。

尤も、考えてみると私にとって饅頭屋になること以外に何の職業がありえたらうかと今は

そんな気持ちであります。

そして、こんな振り返り方をしてみると、私は戦後の日本人の極めて平均的な歩みをしてきたのではないかと思っているのです。

誠に独断と偏見になるかもしれませんが、普通の健康体で、特別ギャンブルにのめりこむような特異な例を除けば、戦後の日本人はおおよそその人が少なくとも一度は良い思いをしたか、することが出来たのではないかと私は思っています。

腹いっぱい食べること、美味しいものを食べることを根底として、皆が中産階級だと思っただけの錯覚を持った時代が、つい何年か前まではあったのですから～。

人類の歴史の中で皆が幸せになれるのだという幻想を大真面目に信じたのは日本人だけだということを何かで読むか聞いたことがある気がするのですが、今日のデフレ局面でようやく意味する所が解ってきました。

動があれば反動があります。

現況をどう捉えるかを考えてみる場合、悲観論のほうが優勢になりがちですが、見失ってはならないことは、バランス感覚と智慧の問題もあることでしょう。

絶対ということは、中々言えないことですが、日本に於いては資源的に恵まれていないことだけは絶対でしょう。

その辺を確認しながら、ものを見たり考えたりすべきではなかろうかと考えます。

本当に求められているのは、世界の中の日本的な協調、そして我慢、そのための智慧となるのではないのでしょうか。

そんなことを思ったり考えたりしているのです。

以上

#### 第4回クラブ協議会

##### 【 会長挨拶 】

委員会を統合して、もしくは統合しないで努めて会の活性化を図るべく、次年度の組織編成について皆様のご意見を伺いたいと思います。

##### 【 次期会長 】

次年度組織編制表(案)について説明。

会報委員長 八下田幸三

副委員長 椿 俊一

委員 須藤功一